

< 地場産農産物の加工・販売を実施している事例 >

## 活発であたたかい集落に

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	山口県岩国市天尾 <sup>いわくにしてんのお</sup>			
協定面積 4.4ha	田(100%) 水稲、コンニャク	畑	草地	採草放牧地
交付金額 37万円	個人配分			58%
	共同取組活動 (42%)	多面的機能発揮のための経費(農業体験、景観作物作付) 7%		
		鳥獣害防止対策及び水路、農道等の維持・管理 15%		
		農用地の維持・管理活動を行う者に対する経費 3%		
		役員手当、事務費等 17%		
協定参加者	農業者 18人			

### 2. 取組に至る経緯

山間にある集落で、人口も少なく、農地面積も小さい。高齢化も進んでいるが、集落の農地を維持し、活性化を図る一つの方法として、第1期対策より取り組んでいる。

平成16年に、集落内に『森の駅前朝市』を開設し、地元産のコンニャク販売を始めたことをきっかけに、平成17年度からの第2期対策では、コンニャク芋栽培のための農用地を編入し、協定面積を拡大した。

### 3. 取組の内容

地元産のコンニャク芋を使用したコンニャクを集落内にある旧学校校舎を再利用した施設で加工し、同じく集落内にある『森の駅前朝市』にて販売している。コンニャク芋の栽培は、集落内だけでなく近隣集落にも広がっている。

地元の天尾小学校の児童全員を対象に、稲作体験学習を田植えから収穫まで通年で行い、農作物を作り、美しい里山を守る苦勞と喜びを子供達に伝えている。



朝市(コンニャク販売)の風景



天尾小学校との農業体験(稲刈り)



天尾小学校による菜の花畑での自然観察会

[ 集落の将来像 ]

- ・北河内地域の各集落と連携し農業生産活動や地域の行事を協力して行えるあたたかい集落にする。
- ・平成16年度に開始したコンニャク加工を起爆剤とし世代間交流を活発化させる。
- ・きれいな景観を守り地元小学校の協力を得ながら体験農業を行う楽しみのある集落にする。
- ・農業だけではなく地域づくりのため自ら考え、自ら行動する体制づくりを行い活発な集落にする。



[ 将来像を実現するための活動目標 ]

現在は耕作放棄地はごく僅かだが、高齢化に備え管理不可能な農地が発生した場合、相互援助できる体制を整えたい。

平成16年、集落内に開設した『森の駅前朝市』の目玉商品にすべく婦人部が近隣集落と連携してコンニャクの加工を開始し、平成17年からは地元産にこだわった製品作りを目指し、原料のコンニャク芋を集落内及び北河内地域で栽培、販路拡大に努めたい。

天尾小学校の児童全員を対象に行っている、田植えから収穫までの稲作体験を継続したい。

猪被害が著しく毎年被害がでる。今後防護柵を共同購入・設置し被害の軽減に努める(設置約400柵)。

[ 活 動 内 容 ]

農業生産活動等	多面的機能増進活動	農業生産活動の体制整備
<p>農地の耕作・管理 (田 4.4ha)</p>	<p>農地と一体となった錦川堤防の下草刈り (約0.5ha、年1回)</p>	<p>地場産農産物等の加工・販売 (旧校舎を加工施設とし、朝市にてコンニャクを販売)</p>
<p>個別対応</p>	<p>個別対応</p>	<p>共同取組活動</p>
<p>水路・作業道の管理 ・水路1.5km、年2回 草刈り 年1回 清掃 ・道路 1.4km、年2回 草刈り</p>	<p>景観作物作付け (景観作物として菜の花、ツツジ等を作付け。)</p>	<p>自然生態系の保全に関する学校教育等との連携 (天尾小学校を対象にした田植え等の体験学習を実施)</p>
<p>共同取組活動</p>	<p>共同取組活動</p>	<p>共同取組活動</p>

4 . 取組による変化と今後の課題等

集落が一体となって地域を守っていく意識が高まった。また、コンニャク販売を通じて、近隣集落との連携が強まった。

今後については、第2期対策の成果をいかに第3期対策に繋げていけるか(構成員の高齢化等の諸問題)が課題であり、近隣集落との連携をさらに強めていく必要がある。

[ 平成20年度までの主な成果 ]

獣害防護柵等を設置(約400柵)

農道、水路の改修各1カ所実施

菜の花の植付け等を天尾小学校の授業の一環として実施

天尾小学校との稲作体験(田植え、稲刈り)を実施(246m<sup>2</sup>)

コンニャクは年間1,545個を販売(平成20年度実績)